

内部監査の課題を洗い出す — 監査体制の各領域の課題と対応策

「経営を支える内部監査の8つの重点課題とその対応策」〔第1回開催分（全8回開催）〕

- 日時 ● 2014年12月18日（木）14:00～17:00
- 会場 ● 東京・飯田橋 『日本出版クラブ会館』
- 講師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人

大手監査法人で20年近く会計監査を経験し、10数年にわたり内部監査、内部統制、不正調査、リスク管理等のアドバイザー業務を専門に行い、2012年、新日本有限責任監査法人シニア・パートナーを退任。現在、ABボロボ コーポレートオーディット日本担当ディレクター/UDトラックス株式会社監査役として内部監査の統括及び監査実務に従事。一方で内部監査関連の執筆、講演活動にも従事。最近の著書に「内部監査の課題解決法 20」税務経理協会。米国公認会計士（現在 inactive）。

●プログラム●

●講演／ 内部監査の課題を洗い出す—監査体制の各領域の課題と対応策

自社の内部監査の課題を洗い出すには、内部監査には一般にどこにどんな問題があってその対策は何かを理解することが必要です。その際には最近の内部監査の動向を知ることも重要でしょう。そのため今回は内部監査の体制の各領域に見られる主な課題を整理して解説いたします。特にIIAなど海外の動きを含めた内部監査の経営志向の最近のトレンドを意識しながら、日本企業の主に大会社に見られる内部監査の課題（ガバナンス、人材、方法論等のインフラ）および対応の方向性を検討いたします。

1. ガバナンス・経営重視の内部監査の最近のトレンドと方向性

IIAの世界調査に見られる経営志向の動き。日本の準拠性監査から脱皮する経営監査への道筋

2. 日本企業の内部監査に見られる課題と対応策

内部監査品質評価の視点からIIA基準のグループごとに日本企業によく見られる課題をグローバル企業と比較して解説するとともに、次のカテゴリーに整理して対応策を検討。

- ①ガバナンス関連（内部監査のガバナンス上の位置づけ、リスクマネジメントへの対応等）
- ②内部監査の人材の課題（人材獲得、人材モデル、チーム編成等）
- ③インフラ関連の課題（方法論、ナレッジ、品質管理、レビュー制度等）

3. 上記を踏まえた付加価値を上げる監査体制を作るためのチェックポイントを紹介 課題抽出と対応策のポイントの解説

●講演をベースとした（グループ）ディスカッション&総括コメント <16:00—17:00>

～参加各社の対応事例や現状の問題意識をシェアする中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	28,080円	一般	31,320円
-----	---------	----	---------

[本体価格 26,000円 本体価格 29,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者のご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先

一般社団法人 企業研究会

担当) 居代 E-mail: ishиро@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麴町 5-7-2

TEL 03-5215-3516 / FAX 03-5215-0951 ~ 2

140188	2014 12/18 経営を支える内部監査の8つの重点課題と～		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

★裏面もご覧ください